

宇都宮市大谷の景観と地域資源の活用

開催趣旨

平成 30 年 5 月に、宇都宮市が申請していた「大谷石文化」が、文化庁による日本遺産に認定されました。同年に市が策定した「歴史文化基本構想」では、宇都宮は「大谷石に関する歴史文化遺産が多数存在するまち」として特徴付けられています。これらを受けて、大谷地区では、まちづくりにおける景観形成、地域資源を活用した観光振興、担い手となる人材の育成や情報発信等の取り組みが進められようとしています。

一方で公益社団法人日本造園学会は、景観や地域資源の利活用について学術的な蓄積を有しており、地域の動きにともない貢献できる要素は大きいと考えられます。以上を受けて、関東支部大会を宇都宮大学にて開催することに伴い、宇都宮大学・宇都宮市と連携して、宇都宮市大谷の景観と地域資源の活用をテーマとしたシンポジウムを企画することとしました。

実施内容

開催日時 平成 30 年 12 月 15 日（土） 13:30～16:00
場 所 宇都宮大学アカデミアホール（陽東キャンパス）
参加者 一般、関連団体、大学関係者等 150 名程度

プログラム

【基調講演】 大谷石文化の魅力
橋本 優子（宇都宮美術館主任学芸員）

【パネル討論】 大谷石の活用・文化の発信に向けて
石ころ文化
中島 宗皓（宇都宮大学教授・臨済宗大徳寺派）

大谷石文化の魅力発信と活用
松本 邦夫（宇都宮市文化課課長）

大谷の環境資源と冷熱エネルギー
横尾 昇剛（宇都宮大学教授）

大谷石石材の現状と可能性
石下 光良（大谷石材協同組合理事長）
コーディネーター 高橋 俊守（宇都宮大学教授）

主催等

- （主催） 公益社団法人日本造園学会 関東支部
- （後援） 宇都宮大学・宇都宮市・宇都宮市教育委員会
- （参加費） 無料
- （申込み） 宇都宮大学地域デザイン科学部（028-689-6230）もしくは、
公益社団法人日本造園学会 関東支部ホームページよりお申し込み下さい。
（席に限りがあるため、定員になり次第、申込みを締め切らせていただきます。）